

古典文学演習Ⅰ（2025年度前期） ルーブリック（成績評価基準の事前公表）

演習 選択 2単位 2年生前期

授業の概略：（シラバスより）

- ◆古典文学の主要な作品を毎回取り上げ、グループ演習形式で分析・発表する。
- ◆発表者に対する意見のフィードバックの場としてmanabaの掲示板を利用する。
- ◆演習発表の準備を通して、対象とする作品の内容・背景・意義などについて理解し、考察を深めていく。
- ◆作品を精読するだけでなく、その作品に関する研究論文を読み内容を紹介することで、古典文学研究の基礎を学んでいく。

授業の到達目標：（シラバスより）

- ◆個々人が毎回の範囲を集中して精読し、先行研究によく当たり、発見を随時共有して、全体としてより深い考察へとたどり着くこと。
- ◆毎回事前学習をした上で、新しい知見を他者から得て、フィードバックを行うこと。
- ◆演習発表において互いに分担して準備を進めていくことで、一人ひとりが責任感を持って担当の作業を遂行していくための自己管理能力を持つことができる。（就業力科目としての到達目標）

①発表に対する評価基準

	項目	観点	レベル4（優秀な段階に達している）	レベル3（標準的な段階に達している）	レベル2（最低限の段階に留まっている）	レベル1（目標とする段階に達していない）
1	読解力・考察力	・文法、語彙、意味を正確に理解している。 ・作品全体の構成を理解できている。 ・問いを持ち、結論を整理できている。	期待以上である。 （学術性の萌芽がある） 20点	3つを十分に満たしている。 14～19点	1～2つをある程度満たしている。 8～13点	ほとんど満たしていない。 （準備不足） 0～7点
2	調査力・引用力	・古典文学作品の原文を適切に引用できている。 ・より専門的な資料を適切に利用できている。 ・参考文献の書誌情報を正確に記載している。	期待以上である。 （卒業論文と同水準である） 10点	十分に満たしている。 7～9点	ある程度満たしている。 4～6点	ほとんど満たしていない。 0～3点
3	伝達力	・『図説国語』や専門辞書の情報を下地にして、基礎情報を分かりやすく示している。 ・時間配分に合わせた読み原稿が準備できている。 ・受け手の理解に配慮した発表構成になっている。	期待以上である。 （資料が充実し、なおかつ口頭補足がある） 10点	十分に満たしている。 7～9点	ある程度満たしている。 4～6点	ほとんど満たしていない。 0～3点
4	責任感・自己管理能力	・担当箇所に対する責任感を持っている。 ・チームの打ち合わせに積極的に参加している。 ・提出期限・提出要件を守る姿勢を持っている。	期待以上である。 （チームの核である） 10点	十分に満たしている。 7～9点	ある程度満たしている。 4～6点	ほとんど満たしていない。 （無断欠席×） 0～3点

②質疑応答に対する評価基準

1	他の発表者への質問	（※観点にコメント数の多寡を含める） ・作品への深い興味関心を示している。 ・発表への真摯な傾聴の態度を示している。 ・新しい着眼点を提示する意欲を示している。	期待以上に認められる。 （新しい視点を与えている） （20～25点）	十分に認められる。 （15～19点）	ある程度認められる。 （8～14点）	ほとんど認められない。 （0～7点）
2	質問に対する回答	・再調査を行うことができている。 ・再考察を行うことができている。 ・誠実で明快な文章で示されている。	期待以上に認められる。 （学術性の萌芽がある） （20～25点）	十分に認められる。 （15～19点）	ある程度認められる。 （8～14点）	ほとんど認められない。 （0～7点）